

第3回 学校運営協議会議事録

令和 6年 2月15日(木) 9:45

○会長挨拶

今年度も早いもので、最終回となってしまった。皆さんと出会う機会ができてありがたいと思っている。

先日、大池中地域での集まりがあった。コロナ禍前までは、地域での情報交換会もあったが、今は、少し縮小した形で実施している。その中で、運営協議会の運営方法についての話もあった。運営の仕方では、ワークショップ方式のものもあったり、このような形で話し合いをすることもあったり様々な形があって新鮮な刺激をうけた。

PTA の組織も変わってきているので、そうした情報交換会ができたことはよかった。地域の方と運営協議会の運営の在り方について話ができたらいいと思う。どういものが、学校と子供たちと、地域が活性化するのか話し合えたらいいと思う。

○ 校長挨拶 本年度を振り返って・次年度に向けて

本年度を振り返って、子どもたちは本当に落ち着いている。今言われている不登校児童は、ゼロではないが、ほぼいない。

子どもたちも、居場所がきちんとある状態で過ごしている。大きな乱れもない。3学期なので、子どもたちと1年間の締めくくりをしているところです。来年度の方針を話していく中で、来年度はチーム担任制を導入していくことになる。学校だよりで掲載していたり、ホームページでも掲載している。子どもたちの反応もよく、素直に、疑問に思うことや、不安に感じることを出してくれている。その疑問などに、丁寧に答えていきたい。来年度は6年生と5年生で運営する。今のところ、6年生は2クラスを3人で、5年生は3クラスを3人の先生でみていくことになる。そうしたことも、現4年生と5年生には話をしている。

「みんなで みんなを みていく」ということが大きなテーマ。このみんな、とは、教職員だけでなく、保護者や地域も含めて大きなくくりでのみんな、ということを考えている。4年生までは、現在の教科担任制や、一部授業交換などをしていくことになる。また、授業時数についても、標準授業時数を大幅に上回らないように教育課程を検討している。来年度もぜひ、ご協力していただきたい。

○ 学校評価・全国体力調査について

資料を見ながら、概要について説明。学校評価についても同様。

○ 運営協議会予算の執行について

今年度も、梅林会の肥料、児童の置き傘を購入する方向で検討したい。⇒合意

○ 来年度の運営協議会について

9年を過ぎたら、次の方を紹介していただくことになっている。来年度は、青少協、ふれあい協議会、学校開放、PTA、保護司、学童コーナー、梅林会、民生委員、民生児童委員、民生主任児童委員等の方を運営委員にしたいと考えている。決定は、学校の方でしていくことになるが、推薦があれば教えていただきたい。こんな方がいるよ、という方がいれば教えてほしい。

(意見) 運営委員の選び方というのも、いろいろ考えていた。毎年メンバーが変わるのではなく、継続して同じメンバーが続いていくことも必要かと思う。

(意見) 変化が必要だと考えている。ここに来ていただくのは地域に尽力していただいている方だけど、もっと数を増やしてほしい。委員の中に保護者の声も入っていくようにしてほしい。

(意見) 地域によっては、学習塾の先生が委員になっていたり、不動産などの方が入っていたりする所もある。花山であれば、真星病院の方や、警察関係、消防関係の方なども入っていただけたらありがたい。

(意見) 他の地域の運営協議会の様子も見てみたいと思う。

(意見) 来年に関しては、校長先生が思う数ですればいい。やってみて、意見をくみ上げて、再来年度メンバーを再構成していくようにしてはいいのではないかと思う。

(校長) 民生委員・民生主任児童委員などがおられると思うが、そうした方も紹介していただきたい。また、やまびこ幼稚園や大池中学の先生もオブザーバーとして参加していただきたいと依頼していきたい。

○ 質疑応答・意見交換

(質問) 全国体力調査について、授業内容は担任裁量なのか。決まっているのか。

⇒ 授業そのものは、神戸市で手引きというものがある。細かなやり方、それぞれの学校でしている。

(意見) コロナ前後で、保護者の方が、少し過保護になっているとも感じる。幼少期に、しっかり体力をつけてほしい。

(質問) 学校評価で、アンケートの回答率はどの程度のものか？

(意見) すぐーるになって、アンケートの回答率がぐっと減っている、という話を聞く。

(意見) じぶん学習については、確かに「わからない」「何をやっていいかわからない」ということは聞く。

自主的にすることも難しい子もいる。子どもだけではなかなか難しい。保護者にもこの方法を発信していくことで、じぶん学習のサポートができるようになっていくのではないか。

(意見) 体力調査の2月号で、朝食を食べないというのが5%というのに驚いた。

⇒ 原因はわからないが、5%という数字が多いとも感じた。

(意見) 朝食の質(何を食べるか)にもよる。親と一緒に食卓を囲んでいるのかも関係していると思う。それぞれの家庭の生活習慣で違ってくると思う。

(意見) 自分は朝ごはん抜いていた。そしたら、病気になって、体力をつけるために医師から指導を受けたこともある。

子どもだったら、健康のためにも食べたほうがいように感じる。

(意見) 自分の母親が朝ごはんしてくれなかった。幸い、近所のパン屋さんに買いに行ってた。今でも、食べるものはそれ以来ずっと同じものを食べている。それを食べないとおなかに変な感じになる。生活習慣のことは、何か発信してもいいのかもしれない。

(意見) 今の生活で、ゲームなんかも影響しているのかもしれない。

(意見) こんな食事もあるよ、みたいなものを紹介してくれたらありがたいかもしれない。

(意見) 臨時号には、学校の見解だけでなく、こうした意見などを載せてもいいと思う。

(意見) 一番感じるのは、学校を取り巻く環境がかわっているということを感じる。委員会からの指示ということもあるし、保護者からの要望ということもあるし、7年前とはまったく環境が変わっている。周りから見て、今の学校は本当に大変だと思う。運営協議会も、組織も形も変わっている。この運営協議会がどこまで学校の、子どもにかえる組織になっていくかが大事になっていくと思う。

○ 校長より

教育委員会便りの、今置かれている学校の状況というところで、ご意見をお話しいたきたい。

教育委員会だよりでも、「本来は家庭や地域で対応・解決していただくような相談が学校にくる」と書かれているが、どのよう感じておられるか。

(意見) 保護者がすべきことだと思う。そうした話も、具体的に話をしてもいいと思う。保護者にきちんと啓蒙すべき。

(意見) 昔は先生になるのは大変なことだったが、今は、先生の仕事が大変になっている。

(意見) どこに連絡していいかわからないという方がほとんど。どこに連絡したらいいかわからない。こういったときには、ここに電話してください、という連絡先を伝えることが必要な時期になっていると思う。関わりたいけど、どこに言えばいいのか、ということがあるのだと思う。なので、まずは学校へ連絡しようと思ってしまう。

(意見) 人間関係が希薄になっている。(保護者同士)

(意見) 今は、連絡網もなくなった。相手の子どもが確実にわかれば、相手先の連絡をとりもっていくこともできるけれど。相手が確定しないことは、対応が難しい。

(意見) 学校は警察組織でないので、できることとできないことははっきり言うことも大事だと思う。相手がわからないなら、学校ができる範囲をはっきりと線引きしてわかってもらうことも大事。

○ 閉会のあいさつ

今日で、最後になる。10年になった。運営協議会にできるだけ参加してほしいというのが今の気持ち。来年度以降は新しいメンバーでしていくことになるが、この協議会が盛り上がってくれたらと思う。